



第2回学校評価アンケート結果



12月にご協力いただきました学校評価アンケートの結果についてお知らせいたします。集計結果は、児童・保護者ともに「よくあてはまる」と「ややあてはまる」を合わせた割合です。今年度の取組を振り返り、今回の結果を参考にしながら、後期後半及び次年度の教育活動に生かしてまいります。（保護者回答率 57.6%）

【児童】				【保護者】			
No.	質問項目	12月	7月との比較	No.	質問項目	12月	7月との比較
11	交通ルールを守り、安全に登下校している。	98.2%	0.9%	10	学校は、授業参観・懇談会・学校行事・各種たより（学校、学年）・HP等を通して、教育活動の様子がわかるように努めている。	94.8%	14.1%
10	人の話をよく聴くことができる。	96.9%	±0	9	学校は、登下校指導・交通安全教室・薬物乱用防止教室・情報モラル教室等を通して、子どもたちの安心・安全を守ることに努めている。	94.2%	6.9%
9	進んであいさつをしている。	96.9%	2.0%	5	子どもは、友達や先生と楽しく学校生活を送っている。	92.3%	1.9%
2	タブレットや電子黒板を使った学習はわかりやすい。	96.9%	/	2	子どもは、タブレットPCを活用した学習に意欲的に取り組んでいる。	85.8%	2.7%
1	授業の内容がよくわかる。	96.4%	1.5%	1	子どもは、学習内容をよく理解している。	85.2%	-0.3%
6	学校が楽しい。	90.7%	0.9%	7	子どもは、あいさつがよくできている。	84.5%	0.2%
8	困った時には、先生や周りの人に相談することができる。	88.0%	0.3%	8	子どもは、人の話をよく聴くことができる。	81.9%	2.4%
7	仲間はずれや、いじわる、いじめをしていない。	87.6%	2.8%	6	子どもは、困ったときに周りの人に相談することができる。	81.3%	-2.4%
3	自分で考えたことを、友達や先生に伝えることができる。	87.1%	-1.6%	3	子どもは、家庭学習の習慣が身に付いている。	68.4%	-11.7%
4	毎日、家庭学習に取り組んでいる。	84.0%	4.7%	4	子どもは、進んで読書に取り組んでいる。	40.0%	-17.2%
5	進んで読書に取り組んでいる。	74.2%	-1.2%				

多くの項目が80%を上回る結果となっていますが、課題もいくつか見られます。数値が高い項目については、今後も継続できるよう努めてまいります。以下の考察は、数値が特に低いものを取り上げました。

- 「読書への取組」については、前回と同様、児童・保護者ともに低い数値となっています。現在、学校では、国語の読書単元や、タブレット活用に伴う調べ学習の際の図書室との併用、また、読書コーナー及び書籍紹介の工夫、学級文庫の充実など、校内読書活動の推進に努めているところです。今後も、児童の実態に即した読書活動に計画的かつ継続的に取り組んでいきます。
- 「家庭学習の習慣化」については、現在、タブレットを積極的に活用した学習や、授業やテストに向け見通しをもたせた学習の工夫などに取り組んでいます。学年だよりの「家庭学習ワンポイントアドバイス」の充実なども含め、引き続き学習方法を見直す機会を増やしながら習慣化を図りたいと考えています。
- 「困ったときの周囲への相談」について、現在学校では、「心の健康観察」（各学級）、「みなとっ子相談室」（学校HP）、「こころのポスト」（保健室前に設置）、定期的な「いじめに関するアンケート」等を用いて、児童の悩みや不安、困りごとなどを伝えられる環境づくりに努めているところです。また、「SOSの出し方の指導」研修を行うなど、教職員の児童への効果的な関わり方についてスキルアップを図っています。今後も児童に寄り添い、一人一人の居場所づくりに全校で取り組んでまいります。

アンケートへのご協力に感謝申し上げますとともに、今後も保護者や地域の皆様との連携を深め、より一層充実した教育活動の推進に努めてまいります。